

静岡市立大谷小学校



出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和7年6月24日(火)

静岡市立大谷小学校 の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、
土器の分類体験 石器の試し切り体験 火起こし体験 を行いました。

土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。



<児童の感想>

時代によって、土器の作り方や色が違うのが、技術の発展を感じました。また、それぞれの土器の特徴を知ることができました。

石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

<児童の感想>

黒曜石は今の包丁より切れ味が悪いと思っていたけれど、試し切りをしてみたら黒曜石は今の包丁とほとんど変わらない切れ味だということが分かった。

火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

火を起こすのに3つの方法があって、縄文時代の人はいくらも知恵を働かせて火を起こしているんだなと思いました。火を起こすのはとても大変で、火が起きないとご飯にも困るので、縄文の暮らしは大変だったんだなと実感しました。

<先生方の感想>

火起こし体験や石器の試し切りを通して、縄文時代・弥生時代に暮らす人々の生活の工夫や努力、苦心にふれることができました。自分事として当時の生活の様子を捉えることにつながりました。また、土器の分類体験を通して、技術の発展に着目し、今後に学習していく際の視点の一つを得ることができました。

